

2024年3月14日

各 位

三菱UFJ信託銀行株式会社

## スタートアップ向け経営管理プラットフォームサービス「MUFG FUNDOOR」 の全国展開開始について

三菱UFJ信託銀行株式会社（取締役社長：長島 巖<sup>ながしま いわお</sup>、以下 三菱UFJ信託銀行）は、2023年4月より首都圏を中心として提供を開始しておりました、スタートアップ向け経営管理プラットフォームサービス「MUFG FUNDOOR」（以下本サービス）について、2024年4月から全国での提供を開始いたします。



### （1）本サービスの狙いと背景

三菱UFJ信託銀行は、株主名簿管理人として、株主総会および取締役会の運営サポート、株式実務やIPO実務に関するアドバイス、ストックオプションの発行や管理の支援、コーポレート・ガバナンス対応支援などの取り組みを通じ、スタートアップの成長を支えてまいりました。

岸田政権において、2022年年頭に「スタートアップ創出元年」が宣言され、同年11月には“戦後の創業期に次ぐ、第二の創業ブームを実現すべく、スタートアップの起業加速と既存大企業によるオープンイノベーション推進を通じて、日本にスタートアップを生み育てる「エコシステム」を創出する”という、官民による我が国のスタートアップ育成策の全体像を示した「スタートアップ育成5か年計画」が発表されました。

一方で、人的リソースに限りあるスタートアップにおいては、煩雑な手続きを要する株式実務やIPO実務、法改正等も多いストックオプションの対応に課題を感じている企業が多いのが実情です。

かかる環境下、株主総会や煩雑な株式関連業務をはじめとした経営管理業務のDX推進を加速させることが、三菱UFJ信託銀行としてのスタートアップ「エコシステム」への貢献、スタートアップの更なる持続的成長支援に繋がると考え、株式会社FUNDINNO（代表：柴原 祐喜<sup>しばはら ゆうき</sup>／大浦 学<sup>おおうら まなぶ</sup>、以下FUNDINNO）と共同で、本サービスの開発を進めてまいりました。

2023年4月より、首都圏中心に本サービスの提供を開始しておりましたが、既に100社を超えご契約を頂いており、また多数のご好評の声を頂いております。

こうした声に応え、スタートアップ「エコシステム」への更なる貢献を図るべく、2024年4月より、本サービスの提供エリアを全国に拡大します。併せて、三菱UFJ信託銀行の信託代理店である株式会社三菱UFJ銀行においても、本サービスの取扱いを開始いたします。

### （2）本サービスの概要

三菱UFJ信託銀行の豊富な経験と株主管理の知見を結集したスタートアップ支援のノウハウ、株主総会に必要な招集通知・委任状・議事録の自動作成機能、取締役会機能、経営会議などの重要会議機能等を、FUNDINNOが提供するスタートアップ向けクラウド型経営管理ツール

「FUNDOOR」に機能強化の上、提供いたします。

株主総会と取締役会で発生する各種事務手続きについて、各々独立して DX 化するサービスはこれまででもございましたが、本サービスでは、株主総会と取締役会の両方をワンプラットフォーム上で組み合わせることにより、複雑なストックオプション発行手続き等、これまで困難なコーポレートアクションの DX 化を実現いたしました。三菱 UFJ 信託銀行では、本サービスを通じて、スタートアップの経営管理業務の効率化と省力化に貢献してまいります。

### (3) 本サービスの特徴

株主名簿を起点として、株主総会、取締役会、増資やストックオプション発行等のコーポレートアクションが、これまでにない高い機能性の実現により、シームレスにワンプラットフォームで一体対応可能となりました。

#### ① 多種多様な機能

「クラウド型株主名簿」「クラウド型新株予約権原簿」の管理機能をベースとして、ペーパーレスを実現する「株主総会 DX」機能、電子署名も可能な「取締役会 DX」機能、取締役会の前提となる経営会議等の運営・管理を効率化する「重要会議」機能、ストックオプション発行をアシストする「コーポレートアクション」機能、ストックオプションの管理・活用を効率化する「ストックオプション管理」機能等、各機能が密接にリンクすることで、煩雑かつ分離していた各業務が一気通貫で対応可能です。

#### ② 操作性に優れたプラットフォーム

株主名簿や新株予約権名簿の管理から、株主総会や取締役会の開催、議事録の作成・保管、電子署名まで、一連の手続きがスムーズに Web 上で完結できます。

#### ③ 24 時間 365 日アクセス可能な「株式実務 FAQ」

本サービス上で、株主総会、取締役会の議案をプリセットします。議案ひな型の提供に留まらず、株式実務や IPO 実務のお悩みや課題解決に向けて、三菱 UFJ 信託銀行の株式実務に関する知見・ノウハウを結集した、「株式実務 FAQ」機能を実装しております。内容が充実した「株式実務 FAQ」機能をご利用いただくことで、24 時間 365 日、いつでも自由なタイミングで必要な情報、知りたい情報にアクセス可能です。

#### ④ 便利な提携サービス

株価算定や規程類の管理、IPO コンサルティングのほか、IPO に不可欠となる印刷会社による支援業務等、スタートアップの成長に必要なサービスを厳選してご紹介。サービス提供企業が、お得な特典をご用意しております。

今後の開発については、足元の 2024 年度のストックオプションに関する税制改正にも対応できるよう機能開発を進め、随時実装していく予定です。またこれらの機能に留まらず、利用者であるスタートアップの声を反映し、随時新しい機能を開発・実装予定です。

三菱 UFJ 信託銀行では、株式実務や IPO 実務の支援、本サービスの提供を通じて、スタートアップの皆さまの経営資源を、企業の持続的成長に不可欠となる戦略構築や課題解決に割り当てられますよう、その環境づくりを後押ししてまいります。

<照会先>

三菱UFJ信託銀行 経営企画部広報室(03-6214-6044)

(ご参考)

## ■主要機能について

### ① 株主総会DX機能

- ・株主総会招集の取締役会から、株主総会招集通知（含む委任状）の作成・配信、委任状の回収・集計まで対応可能
- ・株主の立場でも、web上の委任状対応により、押印・郵送の手続き削減が可能

### ② 取締役会DX機能

- ・取締役会開催に必要な一連の手続きをweb完結
- ・取締役会招集から議事録作成、電子署名まで対応可能

### ③ 重要会議DX機能

- ・経営会議等の重要な会議体のアジェンディング、招集、議事録管理等が対応可能

### ④ クラウド型株主名簿管理機能

- ・現在の株主情報を、プラットフォーム上で簡単に登録可能
- ・異動履歴の登録、株式譲渡、株式分割・併合等にも対応
- ・株主名簿を基とした株主リスト、資本政策の自動作成機能を実装

### ⑤ クラウド型新株予約権原簿管理機能

- ・回次別の管理の他、付与者軸での保有状況の横断的な一覧管理も可能

### ⑥ ストックオプション管理機能

- ・ストックオプションの回次別の要項管理、付与者管理、契約書管理が可能
- ・新株予約権の管理に加えて、報酬としてのストックオプションの管理と戦略的活用が可能

### ⑦ 株主名簿管理人への連携機能

- ・MUFG FUNDOORで管理する一定の情報の変更等は、シームレスに株主名簿管理人に連携が可能（※株主名簿管理人が三菱UFJ信託銀行である場合にのみ利用できます）

### ⑧ 株式実務FAQ機能

- ・情報少ない非公開会社に関する株式実務の理解促進、課題解決の一助として、長年に亘り蓄積された三菱UFJ信託銀行の豊富な経験・知見をweb上で提供

## ■ 株主総会DX機能の画面イメージ

株主管理 経営管理 IR配信 SO管理 コーポレート手続き 提携サービス

### 臨時株主総会

<b>開催日時</b> 2024年02月29日(木) 00時00分	<b>株主総会の基準日</b> 2024年02月13日	<b>開催場所</b> 当社本店 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号	<b>招集通知配信日</b> 2024年02月28日
---	--------------------------------	---------------------------------------	-------------------------------

**株主総会定足数**  
議決権数  
509,500個/590,700個  
86%  
株主数 (議決権なし株主を除く)  
2人/9人  
22%

**招集通知**  
招集通知  
郵送用の招集通知・委任状

**添付資料**  
添付資料はありません

**議事録**  
+ 議事録をアップロード

**決議報告書**  
決議報告書を送付する

**決議事項**  
第1号議案  
当社の取締役および従業員に対するストック・オプションの発行の件

## ■ SO発行・管理機能の画面イメージ

ホーム 株主管理 資本政策 IR配信 株主総会 取締役会 事業計画 コーポレート手続き

### 進行中のコーポレート手続き

ストックオプション発行  
2022年07月12日(火) 12時02分 作成

第3回定時株主総会  
進行中

### 新しくコーポレート手続き

ストックオプション発行  
ストックオプション発行に必要な書類を作成します

増資の  
増資に必要な書類を作成します

### ストックオプション発行の手続き

テンプレート一覧

- 取締役会  
取締役会招集通知.docx  
取締役会議事録.docx
- 株主総会  
株主総会招集通知.docx  
株主総会議事録.docx
- ストックオプション関連  
新株予約権の募集の通知.docx  
新株予約権の割当申込み.docx  
割当契約書.docx  
割当の通知.docx

取締役会にてストックオプション発行の決議を取りましょう

1. 取締役会の議案を作成し、参加取締役を招集しましょう  
まずは議案作成の登録から行います。普通株のみの場合は、スキップしてください。
2. 取締役会を開催し、取締役会決議を作成しましょう  
FUND004の株主名簿を使うと、クラウド上で簡単に株主管理ができます。連絡のつきやすい株主名の登録を推奨しております。

株主総会にて発行内容を決議しましょう

1. 株主総会の招集通知を作成しましょう。  
まずは招集するための招集通知を作成しましょう。
2. 株主総会を開催しましょう。

# ストックオプション管理

## so割合



発行済株式数 50,000,000株  
上限のso割合 10.0%  
現在のso割合 7.0%  
残り発行可能so個数 1,500,000個

## 回次別so一覧

新規発行

No.	種類	タイトル	個数	行使期間	
1	税制適格/非税制適格	第1回ストックオプション発行	1000個 (500,000株)	2014/11/01~2032/10/31	...
2	信託	第2回信託ストックオプション発行	1000個 (2,000,000株)	2014/11/01~2032/10/31	...
3	有償	第3回有償ストックオプション発行	1個 (1,000,000株)	2014/11/01~2032/10/31	...

## so付与者一覧

CSVダウンロード 🔍

名前	従業員	タイトル	種類	行使価額	株式数 (持株比率)	so保有比率	
投資家 太郎	○	第1回ストックオプション発行	税制適格	100円	100株 (0.1%)	25%	...
投資家 太郎	○	第2回信託ストックオプション発行	非税制適格	200円	50株 (0.05%)	...	...